

「がん」のリハビリテーションの実際

市立函館病院 中央医療技術部 リハビリ技術科
理学療法士 森山 武

今日の内容

「がん」のリハビリテーションは

どのように行われるのでしょうか？

がんのリハビリ目標は病期に合わせて行います

がんのリハビリは治療方法に合わせて行います

がんのリハビリ目標は病期に合わせて行います

【予防的】

- 「がん」診断早期の段階で、障害予防を目的とします

【回復的】

- 機能障害、能力低下に対して、最大限の機能回復を図ります

【維持的】

- 日常生活の動作に支障が生じた状態に対して、運動能力を維持改善を図ります

【緩和的】

- 終末期のがん患者に対して、意思を尊重しながら、身体的、精神的、社会的にも質の高い生活が過ごせるように援助します

がんのリハビリは治療方法に合わせて行います

がんに対する治療方法は？

抗がん剤治療(化学療法)

放射線治療

内視鏡的治療

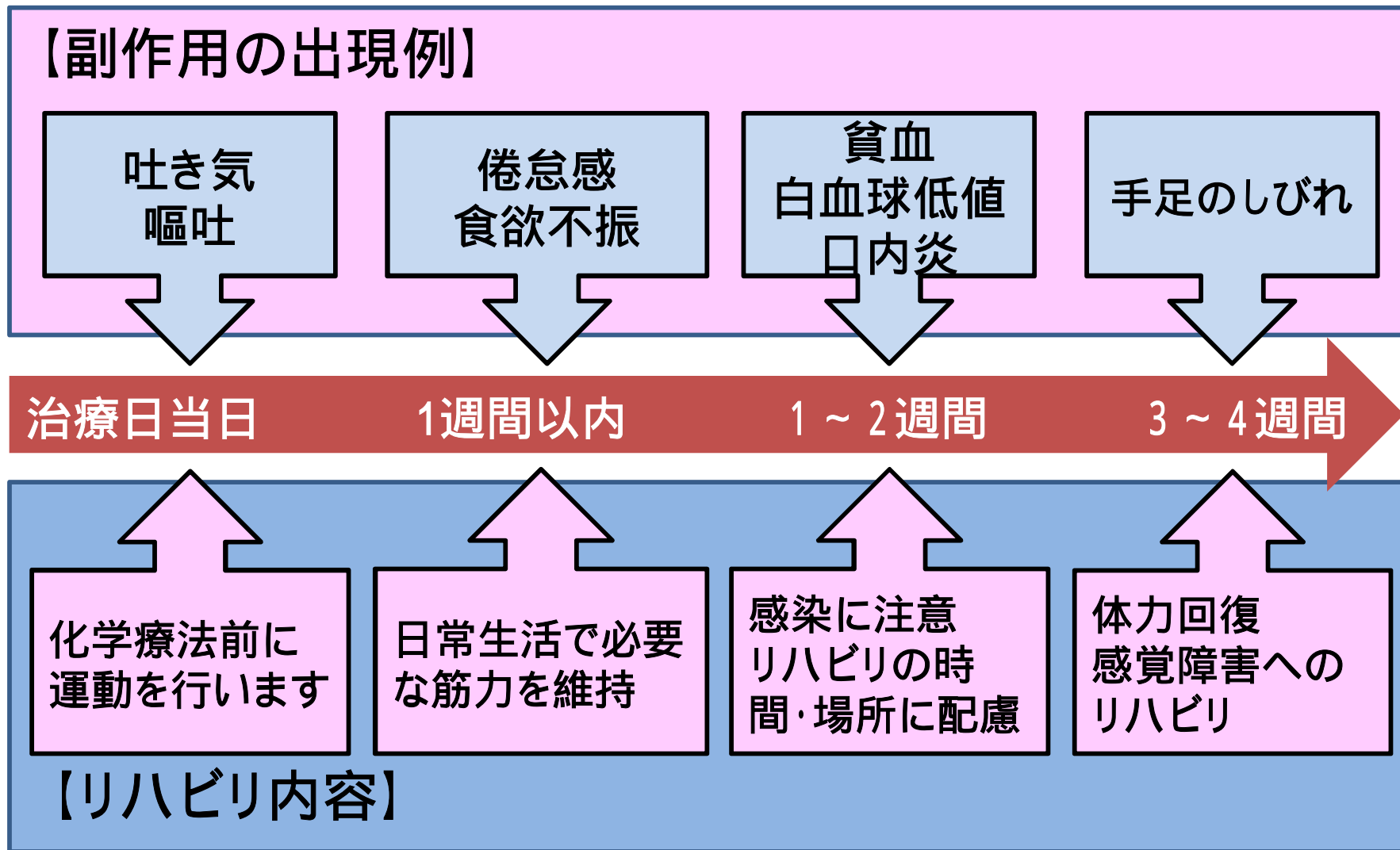
外科的手術

緩和ケア(ホスピス)

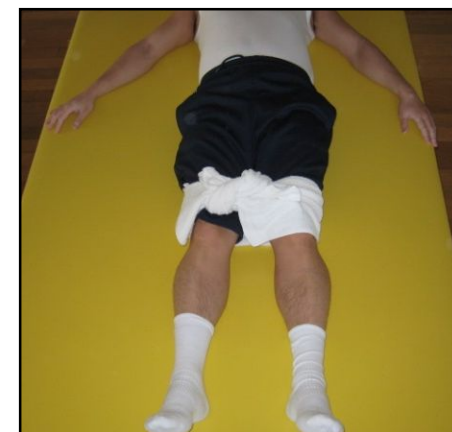
抗がん剤の副作用に応じたリハビリの例



抗がん剤投与



抗がん剤の副作用に応じたリハビリの例



- ◆ 感染に注意が必要なため自室で行う場合があります
- ◆ 日常生活上必要な筋力を維持する運動を無理のない範囲で行います
- ◆ 貧血や内出血などに注意し、自分の力で行える簡単な運動を行います

外科的治療時のリハビリの例



【術後症状の出現例】

- ・傷口の痛み
- ・痰が出せない
- ・安静による体力低下 など

手術前

手術

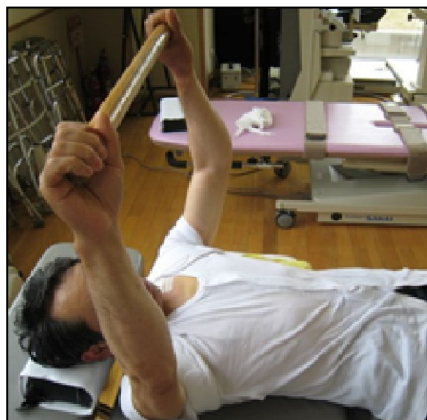
手術後

【リハビリ内容】

手術の合併症の予防・体力維持運動を行います

・ベッドから早く離れることが目標です。
・段階的に座位、立位、歩行練習へと進みます

外科的治療時の実例



手術前

手術後

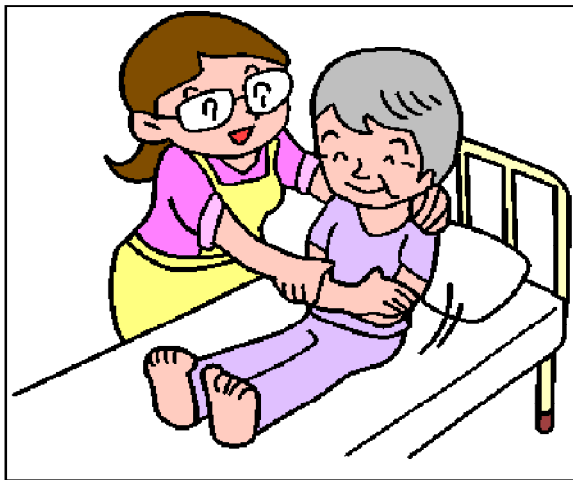
- ◆手術時間が長時間となることが多いため呼吸器合併症が発生しやすく、術前から呼吸のリハビリを行います
- ◆術後のリハビリはすぐに始まり、痰を出し肺炎を予防することや座位、立位練習が始まります

緩和ケア(ホスピス)

痛みや筋力低下を補う方法を指導し、日常生活の拡大を図ります

楽に休めるように、疼痛や苦痛を緩和します

精神的な援助を行ないます



骨転移・脳転移を有する患者さんのリハビリは？

	リハビリの注意点	実際のリハビリ
骨転移	麻痺の出現 骨脆弱(骨折)	患部を保護し残された機能を維持する 歩行などの移動手段の考えます
脳転移	運動麻痺 感覚障害	残された機能を維持する 歩行などの移動手段の再考



患者さんや御家族への指導

- ポジショニング・杖や補装具の選択
- 感染対策、浮腫対策、日常生活動作方法の指導
- 病棟での介護指導(起こし方、移乗方法など)
- 病棟の環境調整(手すり、自助具など)



まとめ

がんのリハビリテーションとは？

治療によって予想される障害を予防します

病気の進行や手術治療などの障害に応じて、運動機能の改善を図ります

障害によっては、代替え手段の検討や身体を保護した動作を指導します

身体的、精神的状態に応じて、でき得る限りの質の高い生活を過ごせるように援助します